

雄峰の由来

「風雪に耐えた高峰は  
雄大で気品と自信に満ちている」

# 雄峰

第173号

編集・発行 PTA広報部  
鹿児島市郡元一丁目20番35号  
令和7年12月16日



**Has great potential**



静思「無用の用」



主幹教諭  
豊留 洋輔

先日、京都大学特別教授の北川さんがノーベル化学賞を受賞した。北川さんの研究を支えたのは、中国の思想家・莊子が説いた「無用の用」という言葉だった。一見、役に立たないように見えるものが、実は重要な役割を果たしている。生徒の皆さんには、附中生活の中で「無用」だと感じることがあるかもしれない。生活記録、残りの姿、無言清掃、当直活動…。今年も文化祭や運動会などで附中生がたくさん輝きを創り上げた。一方で、あなたの日々の附中生活はどうだろうか。好きなことだけに一生懸命取り組み、あなたが「無用」だと思うものから逃げてはいないだろうか。その「無用」と思っているものが、実はあなたにとって重要なことなのかもしれない。

九附連宮崎大会 令和7年9月5日(金)

PTA副会長 桑水流 佳奈

「共に学び 共に支え 共に育つ ～未来を切り拓くチーム附属のちから～」を大会テーマに、宮崎大学サテライトキャンパス「ひなたキャンパス」にて九附連宮崎大会が開催され、本校より7名で参加いたしました。

分科会では、各学校園での様子や問題点等を話題として情報交換や議論を行いました。

様々な意見をもとに、今後子どもたちのよりよい環境づくりに活かしていけるよう努めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。



全附P連PTA研修会

令和7年9月26日(金)・27日(土)

全附P連PTA研修会に参加して  
PTA会長 岡部高之資

「子どもたちとこの国の未来のために」をテーマに、共に時代を切り拓こう」をスローガンにリーガロイヤルホテル東京にて全附P連PTA研修会 第十六回全国大会が開催されました。全国一六二校園、五百名を超える参加者で二日間にわたり、基調講演、四つのテーマでの分科会、情報交換会などの研修が行われました。AIについて、いじめ問題、附属校園の現状や今後の課題などたくさんさんの学びの機会を得ることが出来ました。今後の活動に活かしていけるように取り組んでいきたいと思います。全附P連のHPにも情報が掲載されております。



第13回附属中学校同窓会

前同窓会会長 畠中 逸郎

去る10月4日(土)鹿児島サンロイヤルホテルで第13回同窓会を開催しました。4期から48期までのおよそ180人が集い、誠に楽しく有意義なひと時を過ごしました。

附属中学校同窓会は平成11年(1999年)に発足し、翌年に第1回同窓会を城山観光ホテルで開催、同窓生700人余りが参集しました。平成13年には、母校創立50周年祝賀会を兼ねてサンロイヤルホテルで第2回を開催。以降、平成15年から隔年で同ホテルにて開催しています。一足先に発足した附属小学校同窓会との兼ね合いです。

同窓会初代会長は2期今村義三郎さん。2代目7期川崎真俊さん、3代目14期畠中逸郎と続き、今回の総会で22期岡積弘幸さんが4代目会長に就任いたしました。運営役員も若返り、同窓会の更なる隆盛を期待しています。

なお令和9年には新しい同窓会名簿を発行する予定です。



青春



三年一組担任  
中野 弘章

三年生での学級は一組。理由は覚えていないが、「中学校最後の生活だし、教師を目指すからには、先生達の指導をしっかりと信じて、やってみよう」と決めてとにかくあらゆることに全力を尽くして生活することにしました。最初は優等生を「演じていた」ような感じで、心が折れそうになることもあったが、周囲から褒めてもらうことで嬉しい気持ちになることも増え、それが学校で生活することの楽しさにも繋がった。振り返ってみると、青春の毎日だったと思う。そして、ここからまた戻ってきたいと思えたから、今この仕事をしているのだと思う。「本当か!」と思うその君。まずは、信じてやってみてほしい。分かる人には分かる、かも。



先生の中学時代!



Treasure huntの原点  
二年二組担任  
原田 達也

中学生の頃の自分はとにかく負けず嫌いでした。最もストイックに努力していたのもこの頃だったかもしれない。一方で、自分に自信がもてなくなったのもこの頃でした。結果を求めて努力すればするほど不安も生まれるのだと知りました。さまざまな経験をしていくうちに、ぼんやりと考えていたことがあります。「懸ける想い」×「かけた時間」×「関わる人(仲間)」が大きな価値を生み出し、多くの人の宝物(財産)となる。教師になった私が大切にしているこの考えのものは、中学生時代にぼんやりと考えていたことから繋がっています。これからも自分や大切な人との宝物をワクワク・ドキドキしながら探し続けていきたいです。



これからの主な予定  
(行事は変更・中止もあり)

- 12/24 後期前半終了
- 1/8 後期後半開始
- 1/19 入学者総合選考に伴う振替休日
- 2/2 入学者最終選考に伴う振替休日
- 2/17 3年学年学級PTA
- 2/19 1年授業参観並びに学年学級PTA
- 2/20 2年授業参観並びに学年学級PTA

雄峰173号編集  
私たちが担当しました

- 2-1 橋口 1-1 若松
- 2-2 水俣 1-2 菊川
- 2-3 園田 1-5 高野
- 2-4 坂井 3-3 細山
- 2-5 吉井



## 1年生 学習発表「描け 鹿児島県のデザイン～FUCHU EXPO 2025～」



## 縁の下の力持ち



文化祭を終えて  
文化祭実行委員長 三年四組 川畠そよ香  
「全員で創り上げた。」  
私にとって今年の文化祭は、より一層そう  
感じられるものでした。文化祭までの過程で、  
実行委員や幕間のメンバー、そして附中生全  
員が支え合い、一生懸命準備をしたからこそ  
この文化祭を成功させることができました。  
互いに高め合える附属中の仲間やこの環境への  
感謝を忘れず、残り半年間の附中生活を更に  
充実したものにしていきます。

## 生徒会スタート



**生徒会本部役員**  
生徒会長 松山 為浩(二四)  
副会長 徳田 妃(二二)  
書記長 脇田 瑠璃(二二)  
副書記長 池之上昂(二二)  
企画委員長 瀬戸ひな子(二四)  
副企画委員長 大日 桃華(二五)  
教養部長 上下 悠花(二二)  
徳育部長 山下 裕太(二二)  
保健部長 稲留 由菜(二二)  
情報部長 日高龍之介(二三)  
顧問 日高 大志先生

**★新心の拠り所**  
二年四組 松山為浩  
朝起きて眠りを感じながら  
も学校に来るといふ、私  
達が毎日していることは当  
たり前のように当たり前で  
はありません。中には辛さ  
を感じながら登校している  
人も多いと思います。そん  
な中でも私達が学校に来よ  
うと動き出せるのは友達の存  
在があるからだと思っています。  
また、辛いことがあつてス  
トレスを感じているときで  
も、友との会話が心を軽く  
してくれます。そんな友と  
の支え合いが毎日の私達の  
気力になっています。

第65回 2025.9.30

# 文化祭

描け 清新の物語  
重なる 我らのおもい



## 2年生 学年合唱「木を植える」「君が君に歌う歌」

## 3年生 学年合唱・クラス合唱(自由曲)

### 学年合唱「アルデバラン」



3-1 ♪ 愛を込めて花束を



3-2 ♪ ハルカ



3-3 ♪ 僕らまた



3-4 ♪ カイト



3-5 ♪ Universe

### 吹奏楽部 「Music Express 2025」



### 合唱部 「Shining」



### 演劇部 「ロミオとジュリエット ー目指すは、ありきたりなハッピーエンド!ー」



### 美術部





青組



黄組



# 応援合戦!

緑組



赤組



白組



各団が一致団結した活気ある運動会となりました。  
応援の部は緑組優勝でした。

## 部活動対抗リレー



競技の部  
黄組優勝!



運動会を振り返って  
運動会実行委員長  
三年三組 上野 湊輔  
副委員長 委員長  
僕にとって今年度の運動会は、たくさんの人の思いを感じられたものでした。  
今年度は「魅せつける 五色の魂 創り上げる 新たな伝統」というスローガンを掲げ、全員の心に残る運動会を目指して活動してきました。最初から全員が強い思いを持っていただけではありませんでした。しかし、応援団や副実行委員長がそれぞれの想いを語ってくれたことでそれが伝播し、次第に想いが高いレベルで揃っていったように感じます。結果として勝敗以上に本当に価値のある運動会となったと思います。この価値を一瞬ではなく一生のものにできるようにこれから過ごしていきます。

第75回 2025.10.11

# 運動会

魅せつける 五色の魂  
創り上げる 新たな伝統



100m走

開会式



150m走



1年

2年

3年

800m走



1500m走



1年



巻き起こせ!!ねっちゃん旋風

2年



夢想花-とんとんとんととんとで-

3年



7チューホマミクサー (全力ver)

若き夢



係活動も  
がんばりました





## 3年生 職場体験学習

57ヶ所の事業所にご協力いただき、生徒たちは学校内ではできない貴重な体験をさせていただきました。

10月28日～10月29日



職場体験を終えて  
三年四組 立石 稀子  
「やりたいことができるわけではない。水族館で働く方はこう言いました。ではなぜここで働いているのか。それは二日間の職場体験を通して分かりました。イルカとのふれ合いでの笑顔、一頭一頭を見て体調を確認する姿、

その姿を見て、海の生き物に対し愛情をもっているから水族館で働いているんだと思いました。またお客さんを最大限楽しませるための工夫は予想していたものと違い興味深かったです。大人になったら、誰かの幸せを支えるために愛情をもち、やりがいを感じるような仕事をしたいです。

## 2年生 修学旅行

一味同心 ～未来につなげよう絆と縁 191の笑顔あふれる颯爽とした旅～

10月28日～10月31日 場所・関西方面



修学旅行を終えて  
二年一組 木通 綜太  
二年二組 内村 心優  
二年三組 内村 心優  
二年四組 内村 心優  
二年五組 内村 心優  
委員長 副委員長  
実行委員長・副委員長として全体の企画・進行をする中で、自主的な動きが求められ、責任を感じる場面が多くありました。予定通りに進まないこともありましたが、仲間と協力しながら一つの行



事を創り上げる過程に大きなやりがいを感じました。また、多くの学びや発見があり、友達との絆だけでなく、旅先で出会った人の温かさや縁のようなものを感じることができました。支えてくださった先生方や出会った全ての方々への感謝を忘れず、この経験を今後の生活、特に学校での姿に活かしていきたいです。

## 1年生 集団宿泊学習

広げ深める 絆と信頼 おもいつむぐ 180の個性

10月29日～10月31日 場所・国立大隅青少年自然の家

校外学習は、5ヶ所の事業所にご協力いただき見学しました。



様々な活動を通し、交流を深めました。



宝物  
一年三組 池田 奈々  
少しにぎやかな集合から始まった二泊三日の宿泊学習。初めは先生がしていた呼び掛けも実行委員と班長の全員で意識を高めていくことができました。校外学習や山登りなど多くのスケジュールがある中で、班会での一日の流れの確認や互いに支え合う前向きな発言など全員で協力することで一年生全員が団結することができました。しかし、元氣なあいさつができていないことや公共の場でのマナーなどの課題も見つかりました。成果や課題も自分たちを成長させてくれる大切な宝物として今後の生活にも生かしていきたいと思





陸上競技部



サッカー部



吹奏楽部



美術部



水泳同好会

共に流した汗と涙、仲間と紡いだ絆は一生の宝物

# 燃やせ！附中魂！！

～部活動紹介～



女子バレーボール部



合唱部



演劇部



硬式テニス同好会



男子バスケットボール部



ハンドボール部



男子ソフトテニス部



卓球部



軟式野球部



女子バスケットボール部



バドミントン部



女子ソフトテニス部



剣道部



# 保健生活部

## 第1回学校保健委員会 令和7年6月26日(木)

### 【令和7年度学校保健委員会のテーマについて】

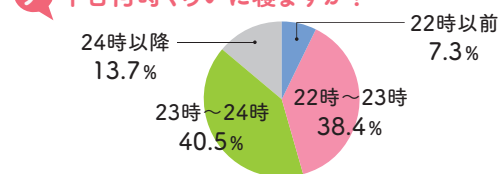
#### 親子で取り組む附中生活 ～食事・睡眠について～

『テーマ設定の理由』本校の多くの生徒は、学校生活、部活動、その後の塾通いなど心身ともに多忙な毎日を送っている。そのため十分な睡眠がとれていない生徒が多く、朝から体調不良での保健室来室者が多い傾向である。また、各家庭においては生活スタイルの多様化により、子ども自身の自律した行動が求められる時間が増加している。そこで、「食事」・「睡眠」について改めて考え、親子の関わりを基盤にバランスの取れた生活を推進し、心身ともに健康な子どもを育てる取組を行っていきたい。

取組内容：①生徒と保護者に対し、「食事」や「睡眠」などの生活習慣に関するアンケートをGoogleフォームで行う。  
②家族の協力のもと、生徒自身で作る「おにぎり弁当の日」を文化祭当日に実施する。

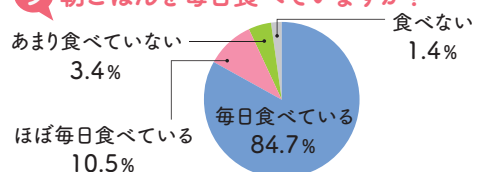
7月14日実施の生徒アンケート結果（回答者：本校生徒437人、保護者413人）

#### ア 平日何時くらいに寝ますか？

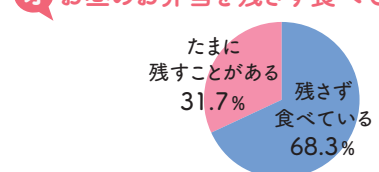


保護者の回答では、23時～24時で44.6%、24時以降で9.2%と両方で差がみられた。

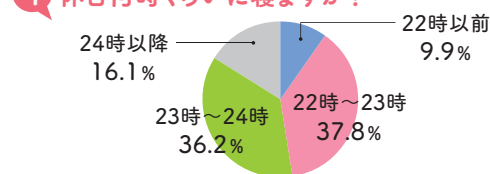
#### ウ 朝ごはんを毎日食べていますか？



#### オ お昼のお弁当を残さず食べていますか？

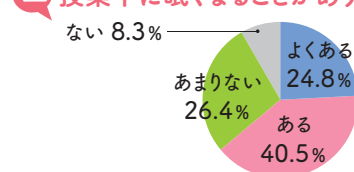


#### イ 休日何時くらいに寝ますか？

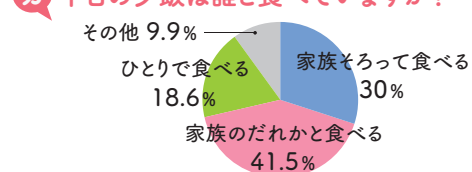


保護者の回答では、23時～24時で42.9%、24時以降で7.5%と両方で差がみられた。

#### エ 授業中に眠くなることがありますか？



#### カ 平日の夕飯は誰と食べていますか？



### 【定期健康診断の結果】

視力検査：矯正視力（眼鏡・コンタクトレンズ使用者）の生徒が全体の約半数。裸眼の生徒の中で、B以下の割合は54%であることから、多くの生徒が視力低下のまま過ごしている可能性がある。矯正視力者の中にもCやDの生徒がいる（33%）ので早急な医療機関の受診が必要である。

歯科検診：本校のむし歯保有者は11名。歯垢付着や歯肉の炎症が見られる生徒や要観察歯の保有も多いので、歯周病や虫歯に進行していかないように、歯磨きの重要性を指導していきたい。

内科検診：脊柱側湾症を含む脊柱や胸郭の異常が多く、アトピー性皮膚炎を含む皮膚疾患も見られた。

耳鼻科検診：特に鼻アレルギーや耳垢栓塞が多く見られた。

### 【学校医の指導助言】

眼科医：スマホ・タブレット等の長時間使用により、近視が進んでいる現状なので、30分に1回は、遠くを見て目を休ませるとよい。1日の生活の中で、屋外で過ごす時間を増やす事を心がけてほしい（出来れば2時間程度）。

耳鼻科医：睡眠が大事。寝ることで頭の中を整理し、記憶を定着させたり、肥満を防止したりすることにもなる。

歯科医：検診では全体的に虫歯は少ないが、歯垢が残っている生徒が多いので、しっかり歯磨きする必要がある。

薬剤師：照度・騒音・水質の検査を定期的に行っている。ダニ対策としてカーペットを撤去している。

# 研修部 PTA研修視察

令和7年6月16日(月)実施

今年度は、71名の保護者の皆様に参加していただき、甲南高等学校と樟南高等学校の2校を視察してまいりました。公立高校、私立高校を同日に視察することができ、それぞれの違いや特色を学ぶことができました。また卒業生の生の声を聴くことができ、大変有意義な研修視察となりました。



## 鹿児島県立甲南高等学校

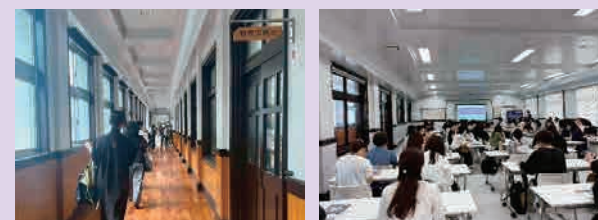
- 「地球規模でものを考え行動するリーダー」の育成を目指している。卒業生には赤崎勇（ノーベル物理学賞受賞者）、宮下純一（オリンピックメダリスト）、下野竜也（指揮者）など有名な方がいる。
- 旧制二中、旧制二高女から受け継ぎ、今年度創立119周年、来年度は120周年を迎える。
- 文武両道で部活入部率は86%、国公立大学現役合格率72%。今年度から2学期制、朝課外は希望制である。
- 伝統的な行事には甲鶴戦、薩摩半島縦走などがある。
- 特徴的な活動として、自分の考えや趣味などをプレゼンテーションする甲南タイム、卒業生が講演を行う甲南塾、2年次に希望者を募集し、選考にて10名程度で海外研修を行う海外派遣事業がある。
- 部活動は盛んで、陸上部、書道部、放送部など多くの部活動が全国を舞台に活躍している。
- 風格ある校舎は国の登録有形文化財に指定されている。
- ＊探求する心、自ら学習に取り組む力、協働する力、挑戦する力を持った生徒にぜひ入学してほしい。



HPはこちら

### ～卒業生(1年生)より～

- 宿題が多く最初は不安だったが、学習習慣がついた。
- 定期考査ではなく、単元テストがある。日々、予習、復習が大事である。スキマ時間はアプリを利用して勉強している。
- 放課後の自習は18時まで。休日も開放している。
- 勉強も部活もどちらも全力で力を伸ばしていける。頑張る生徒がいて刺激を受け、高め合える環境である。
- 甲鶴戦では、全校応援があり一致団結できる。
- 友達もでき、とにかく楽しい。入学してよかった。



## 学校法人時任学園樟南高等学校

- 「博文約礼」を建学の精神とし広く知識を修め、礼儀正しい信頼される人間の育成を目指している。
- 今年度142周年、鹿児島の私立高校の中では最も歴史が長い。
- 普通科（文理、英数、未来創造）、商業科（資格キャリア、特進ビジネス）、工業科（機械工学、電気工学、自動車工学）の3つの学科と8つのコースに分かれている。進学から就職まで幅広い進路選択ができる。
- 普通科の文理コースは少人数制で一人ひとりに目が届き、きめ細やかな指導を行っている。朝補習にも力を入れている。全国でも珍しい3～4限連続しての90分授業がある。難関国公立大学への進学を目指している。
- 様々な部活動があり、全国大会で活躍している部も多い。ワープロ部は全国大会で6連覇を達成している。
- 広くて明るい図書室には、勉強できる学習ゾーンがある。
- ＊高校にはそれぞれの特色があるので、子どもに合った高校を選んでほしい。オープンキャンパスはぜひ体験してほしい。



HPはこちら

### ～卒業生(2年生)より～

- 朝補習があるので中央駅から特定バスで登校している。
- 校則は中学校に比べて自由。
- 3～4限連続の90分授業は、最初は疲れていたが徐々に慣れて集中力がついた。
- 文理コースは、少人数なので質問もしやすく、自分の勉強に特化できる。また、クラスの仲がとてよい。
- 生徒数が多く部活動が盛んなため、他のコースの生徒との交流や運動部の生徒を見て自分も頑張ろうと思える。
- 専願希望ではなかったが、入学して本当によかったと思える。勉強も友達も趣味も充実している。



## 研修視察参加者の声

- どちらの学校も特色があり、興味深く参加させていただきました。とても有意義な時間を過ごすことができました。
- 実際に視察に参加し学校の雰囲気を感じ、先生方や生徒さん達のお話が聞けて大変勉強になりました。子どもにも共有したいと思います。
- 「子どもさんとよく話し合って、その子にあった高校の進路選択をしてください」とお話しされていたのが印象的でした。
- よいタイミングで高校を視察できたので、今後のオープンキャンパスの参考にしたいと思います。